

産業成長戦略の令和2年度の進捗状況等

分野：林業分野

戦略の柱： 担い手の育成・確保

取組方針：林業大学の充実・強化

【概要・目的】

平成30年4月に本格開校した林業大学校において、林業現場で即戦力となる人材の育成（基礎課程）及び次世代の林業・木材産業界を牽引していく高度で専門的な人材の育成（専攻課程）する。また、既に林業や建築設計業務を実践している方などのスキルアップ（短期課程）を図るとともに、都市部での実務者講座の開催など木材需要をけん引する木造設計士を短期間に養成する仕組みづくりに取り組む。

令和2年度当初計画（P）

1. 林業大学校の充実・強化

(1) リカレント教育の更なる充実強化

（質の高い教育の提供）

- ・短期課程（リカレントコース）での高度で専門的な講義の実施（通年）
- ・市町村林業職員向け研修の実施（5月～）

（開かれた学校づくりの推進）

- ・年間を通じた広報活動の充実強化（通年）
- ・運営委員会及び地域懇談会の開催
- ・経済同友会等との連携した講座の開催（2月）
- ・地元大学等との共通講座の検討（5月～）

(2) 新たな木造設計士育成の仕組みづくり

（質の高い教育の提供）

- ・都市部等における実務者講座の開催（東京・大阪：9月～）
- ・首都圏における木造設計集中講座の開催（東京：10月～）
- ・短期課程（リカレントコース）での高度で専門的な講義の実施（通年）

【再掲】

- ・限校長による特別講座及び建築学生向けのサマー・オータムスクールの開催（8月～11月）
- ・専攻課程（木造設計コース）での高度で専門的な人材の養成（通年）

(3) 研修生確保対策の強化

（優秀な人材の確保）

- ・移住対策等と連携した入校生の確保
- ・年間を通じた広報活動の充実強化（通年）【再掲】
- ・都市部等における認知度の向上、公開講座等の開催（東京・大阪：9月～）
- ・学校等訪問による林業大学校PR（6月～）

（質の高い教育の提供）

- ・即戦力となる人材の育成（基礎課程・通年）
- ・中核を担う人材の育成（専攻課程・通年）

（県内事業体への就業促進・定着率の向上）

- ・インターンシップ等による細やかな就業支援（7月～2月）
- ・林業労働力確保支援センターと連携したきめ細かな就業支援（雇用計画情報収集、事業体とのマッチング・通年）
- ・林業事務所等と連携した修了生のフォローアップの強化（通年）
- ・卒業生の組織化及び人的ネットワークの構築

計画を進めるに当たってのポイント

1. 林業大学校の充実・強化

・社会人の学び直しプログラムの提供

・短期に木造設計士を養成する仕組みづくりの構築

・都市部等における認知度の向上、公開講座等の開催

・入校生の確保に向けた関係機関との連携強化

・県内事業体等への確実な就業支援

・林業事務所と連携した修了生のフォローアップ体制の強化

・林業大学校の発信力の強化（広報活動の強化、公開講座の充実）

・運営委員会及び地域懇談会の開催

・卒業生の組織化及び人的ネットワークの構築

令和2年度の取り組み状況（D）

1. 林業大学校の充実・強化

(1) リカレント教育の更なる充実強化

（質の高い教育の提供）

- ・短期課程研修の実施(97講座、1992人(見込)(対前年度比 2%増、(H31:97講座、1947人)
- ・市町村林務担当職員研修の実施（中央西管内 8/4、11/27、須崎管内 9/25、中央東管内 12/15 安芸管内 12/23、2/25(予定)、調整中：嶺北管内、幡多管内 延べ45人)

（開かれた学校づくりの推進）

- ・募集要項、学校案内、ポスター等の作成・発送（6月～）
- ・新聞広告（6/28、10/19）、テレビCM、ラジオ、web広告（6～7月、8～9月、10～11月）、web広告のみ（1～2月）、駅貼り広告（9～11月）
- ・運営委員会の開催（8/28）、地域懇談会の開催（2月(予定)）
- ・高知工科大学、大阪市立大学との協定締結に向けた取り組み

(2) 新たな木造設計士育成の仕組みづくり

（質の高い教育の提供）

- ・実務者講座（オンライン）の開催（9/4、9/18、10/9、10/30 延べ104人）
- ・実務者講座（木造建築見学）の開催（高知：11/26～11/27 延べ14人）
- ・首都圏における木造設計集中講座の開催（東京：10/2、11/6、12/11、2/5 延べ130人）
- ・木造設計集中講座（木造建築見学）の開催（高知：2/26～2/27(予定)）
- ・限校長特別講義（オンライン）10/23、276名及び建築学生向け高知：11/3、138名の開催
- ・オータムスクールの開催（9/10～9/12 延べ21人）
- ・建築学生向け講座（オンライン）の開催（9/19、59名）

(3) 研修生確保対策の強化

（優秀な人材の確保）

- ・限校長特別講義（10/23、11/3）、実務者講座（9/4、9/18、10/9、10/30、11/26～11/27）、木造設計集中講座（10/2、11/6、12/11、2/5、2/26～2/27(予定)、建築学生向け講座（9/10～9/12、9/19）の開催
- ・学校進路ガイダンスへの参加（高知北高 5/17、20、伊野商 6/13、10/22、高知農高 11/17）
- ・県内高校個別訪問（安芸桜ヶ丘他 39校 6/2～7/27）
- ・施設見学受入（県立城山高校 10/21、2年生 36名及び高知大学 10/25、1年生 100名）
- ・オープンキャンパスの開催（7/18・19、参加者名（申込者 50名、同伴者 27名））(対前年度比 7%増、参加者 72名（申込者 41名、同伴者 31名）)
- ・こうちフォレストスクールへの参加（高知 8/30、10/4、オンライン 9/6、9/12、9/13、9/26、10/3、10/11）【再掲】
- ・森林の仕事ガイダンスへの参加(名古屋 9/27、大阪 10/10、東京①11/3、東京②1/30)【再掲】

（質の高い教育の提供）

- ・基礎課程入校生 19名
- ・専攻課程入校生 25名（森林管理 11名、林業技術 9名、木造設計 5名）

（県内事業体への就業促進・定着率の向上）

- ・インターンシップの開催（第1回 8/24～9/4、第2回 10/12～10/23、第3回 11/16～11/27、第4回（基礎課程）1/25～2/5） 受入事業体[林業]40社、[建築設計]14社
- ・就業ガイダンス開催(7/11、参加事業体[林業]35社、[建築設計]7社)
- ・インターンシップ先の情報提供(8月、9月、11月、12月)
- ・令和元年度卒業生の就労状況聞き取り（5/8）
- ・卒業生と基礎課程研修生との意見交換（6/15）
- ・卒業生就業先訪問（6/16、6/22、7/31、8/31、9/3、9/14）
- ・同窓会名簿の作成(8月)及び会報の発行（12月）

課題と令和3年度の取り組み（C、A）

見えてきた課題

1. 林業大学校の充実・強化

(1) リカレント教育の更なる充実強化

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への対応（3密の回避・定員・オンライン講義の検討）
- ・スマート林業の推進等施策課題への対応

（開かれた学校づくりの推進）

- ・地元大学、関西圏の建築系学校との連携

(2) 新たな木造設計士育成の仕組みづくり

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への対応（オンライン講義等）
- ・関西圏における木造建築士育成の仕組みづくり

(3) 研修生確保対策の強化

（優秀な人材の確保）

- ・専攻課程木造設計コースの研修生確保
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への対応（Web 広告等の活用・オープンキャンパス、相談会等学校行事のオンライン化による対応）

（質の高い教育の提供）

- ・新型コロナウイルスの影響による講義の再調整

（県内事業体への就業促進・定着率の向上）

- ・修了生フォローアップ体制の確立、同窓会組織の活性化

令和3年度の取り組み（予定）

1. 林業大学校の充実・強化

(1) リカレント教育の更なる充実強化

（質の高い教育の提供）

- ・オンライン講座の開催
- ・短期課程（リカレントコース等）でのスマート林業など高度で実践的な講義の実施

（開かれた学校づくりの推進）

- ・地元大学等との共通講座の開催、関西圏建築系大学等との連携講座の実施

(2) 新たな木造設計士育成の仕組みづくり

（質の高い教育の提供）

- ・オンライン等による実務者講座等の開催
- ・大阪での木造設計集中講座の開催
- ・限校長による特別講座及び建築学生向け講座の開催
- ・専攻課程（木造設計コース）での高度で専門的な人材の養成

(3) 研修生確保対策の強化

（優秀な人材の確保）

- ・オンラインによるオープンキャンパスや相談会の開催
- ・移住対策等と連携した入校生の確保
- ・年間を通じた広報活動の充実強化（通年）【再掲】
- ・都市部等における認知度の向上、公開講座等の開催

（質の高い教育の提供）

- ・即戦力となる人材の育成（基礎課程・通年）
- ・中核を担う人材の育成（専攻課程・通年）
- ・新しい生活様式など社会変化に対応した講義の実施

（県内事業体への就業促進・定着率の向上）

- ・同窓会ネットワークを活用したフォローアップ
- ・林業労働力確保支援センター等と連携したフォローアップ

令和2年度当初計画 (P)

令和2年度の取り組み状況 (D)

課題と令和3年度の取り組み (C、A)

【新型コロナウイルス感染症による影響】

(休校・学校行事中止等措置)

- ・入校式(4/18)を中止、5/13まで休業し5/14から通常授業開始
- ・短期課程では、リカレントコースの受け入れ中止(16講座)、及び小規模林業向けコースなど6講座中止、1講座延期、10講座縮小、建築学生向け集中講座サマースクール(8/18~8/20)中止、木造設計集中講座(東京での木造建築見学)の中止、経済同友会連携講座の中止

(オンライン化による対応)

- ・基礎課程、専攻課程：一人1台パソコンによる自宅学習(4/21~5/13)
- ・短期課程(オンラインに変更)：建築実務者講座(9/4、9/18、10/9、10/30)、隈校長による特別講義(東京10/23)、建築学生向け講座(9/19)、県林業技術職員向け研修(6/29、7/3、7/20、8/19、10/9)

(施設見学等)

- ・アグリウォッチングによる施設見学(12/13、県内県立高校生12名)の中止
- ・大阪市立大学建築学科の林業体験(9/15~9/17)、幡多農業高校進路ガイダンスの中止

【令和2年度末の目標】

林業大学校修了生の県内就職者数 = R2(H27~R2 累計)111人(R2の県内就職者数27人)

【直近の成果】

林業大学校修了生の県内就職者数 : (H27~R元 累計)84人(R元の県内就職者数14人(R元修了生(基礎課程20人は専攻課程へ進学)))